首都圏

党本部代表電話
03（3403）6111
首都圏総局ファクス
03（5379）2419

日本共産党
都県委員会
東　京　03（5972）1621
千　葉　043（241）4251
神奈川　045（432）2101
山　梨　055（235）2437
埼　玉　048（658）5551
茨　城　029（353）8290
栃　木　028（658）4302
群　馬　027（251）6994

茨城　暮らし・教育優先に
党県議団が新年度予算説明会

共産党県議団が開いた県政予算懇談会＝21日、水戸市

茨城県の新年度予算案が発表されたことを受け、日本共産党茨城県議団（江尻加那議員）は21日、水戸市内で説明懇談会を開きました。民主団体などを含め約60人が参加しました。

江尻氏は、1兆3599億円余りの当初予算案が過去最大規模になったことにふれ、「開発優先から暮らしや教育優先に振り向けるよう強く求めていきたい」と表明。県が全国3番目の農業産出額をほこる一方、予算に占める農林水産予算割合が40年間で4分の1にまで減っていることに「農家の自助努力にまかせている表れだ」として、予算の拡充を求めたいと述べました。

党県議団が求め続けてきた中小企業への賃上げ直接支援が拡充されたことに言及。全国に比べ県内の労働分配率が著しく低くなっていることを指摘し、「県の賃上げ支援ともあわせて是正を求めていきたい」と力説しました。

参加者からは、県が不法就労者の「通報報奨金制度」を4月に実施することについて外国人への差別を助長しかねないとの意見があり、江尻氏は「不法就労が生まれる背景こそみるべきだ」として、「県の姿勢をただすとともに県民の声を届けたい」と応じました。

声届ける欠かせぬ議席
栃木・壬生町議選　たなべ氏勝利へ
いわぶち氏が講演

栃木県の日本共産党壬生町委員会は22日、壬生町議選（3月24日告示、29日投票）での、たなべ明男町議勝利へ向けた演説会を開きました。いわぶち友参院議員が講演しました。

たなべ氏は、住民アンケートで「生活が苦しくなった」の回答がほとんどを占めたと報告。「工業団地の造成、大規模スーパーの誘致、そんな町政でいいのか。国、県に従うのではなく住民のための政治に取り組むべきだ」と訴えました。

声援に応える（右から）たなべ、いわぶち、ごのへの各氏＝22日、栃木県壬生町

いわぶち氏は「暮らしの小さな声を取り上げ、議会に届け、運動を広げる共産党の議席は欠かせない」と、たなべ氏の議席の値打ちを強調。総選挙で自民党が3分の2の議席を得たことに不安が広がっていると述べ、「国民が望んでいることは物価高対策、暮らしを支えることだ。富裕層に課税を。街頭で対話すると共産党の政策と国民の要求は一致している。もっと知らせていこう」と呼びかけました。

女性後援会の4人が「公民館をもっと使いやすくして」「年金が足りない」「公共交通を整備して住民の足と暮らしを守って」、現役世代の男性が「デマ・中傷がSNSで広がっているのは問題。参政権という価値をしっかり教育するべきだ」と要望し、たなべ氏勝利へ期待を寄せました。

4月の下野市議選をたたかう、ごのへ豊弘市議も訴えました。

神奈川県母親大会開く　海老名
戦争への道許さない　共同の輪広げよう

それぞれの運動について報告する各団体の人たち＝23日、神奈川県海老名市

第69回神奈川県・第19回海老名母親大会が23日、海老名市で開かれ、計1120人が参加しました。午前中は映画「黒川の女たち」上映や教育・環境・農業・軍事など各分野の計九つの分科会、午後は作家のアルティシアさんの講演や運動交流、高校生の太鼓演奏などの全体会を行いました。

「自分らしく生きるために～次世代につなぐジェンダー対話～」をテーマに講演したアルティシアさんは、「日本の社会に育って男尊女卑をすりこまれていない人などいない。差別は社会の仕組みの問題」「無意識の偏見、アンコンシャス・バイアスの『学び落とし』が必要」だと指摘。「うっかり言いがちな、あるあるNG集」として、「彼氏は？　結婚は？」「机運ぶから男子来て」「さすが女の子」などを紹介すると、会場にため息と笑いが広がりました。

アルティシアさんは、SNSでフェミニズムが広がった部分もあれば、デマやヘイトの温床にもなっていると指摘し、「今こそリアルが大事。このような場、皆さんこそが希望」だと強調しました。

参加者全体で、「子どもたちに平和で明るい未来を手渡すため、ともに力を尽くそう」とのアピール、「排外主義や女性の生きづらさを放置し戦争への道をひらいていく政治は許さないと、市民の大きな共同の輪を広げていこう」との特別決議を採択しました。

日本共産党の畑野君枝衆院議員と、県内の地方議員らも参加しました。

対話重ねるまちづくり
東京・清瀬「原田さんを市長に」
市民が集会

東京都清瀬市長選（3月22日告示、29日投開票）で、日本共産党市議の原田ひろみ氏＝無所属新＝を当選させようと、党派を超えた市民でつくる「市民とともに市政を変えるきよせの会」は21日、市内で集会を開きました。約200人が参加しました。

会場いっぱいの人がつめかけた集会。中央が原田ひろみさん＝21日、東京都清瀬市

清瀬市では現職の渋谷桂司市長のもと、住民に十分に周知されないまま、図書館の廃止や、2億円以上をかけた鉄道車両「夢空間」の市立公園への設置が進められてきました。

きよせの会は、市民本位の市政に変えるため、図書館存続を求めてきた住民を中心に結成されました。

有原誠治共同代表は、原田氏は市の問題を知り尽くした「素晴らしい候補者」だとし、市長として市政へ送ろうと呼びかけました。

市民からは「図書館の廃止問題をいち早く知らせてくれたのは原田さんたち」「近所や職場、友人に『どんな清瀬にしたい？』と問いかけることが、変える一歩になる」との声が上がりました。

市議会・会派「共に生きる」の市議があいさつし、生活者ネットの元市議がメッセージを寄せました。

原田氏は、情報公開を徹底し、市民と考え対話を重ねるまちづくりを実現したいと語りました。

市民と浅野県議「街角トーク」
千葉・市川

千葉県市川市内の、日本共産党を支持する市民有志「JCP市川から応援し隊」は22日、市川駅前で「街角トーク」を行い、共産党の浅野ふみ子県議も参加しました。

浅野県議（左2人目）とともに訴える「応援し隊」の参加者＝22日、千葉県市川市

参加者は「建材の高騰で修繕費が跳ね上がり、老後が心配」などと語りました。自民党が3分の2を占めた衆院選の結果にふれ、高市政権の軍拡、改憲姿勢を批判した一方で「意見の違う人とも話し合える世の中に」と呼びかけ。県政について「共産党は県営水道値上げに反対し、4カ月間だが値下げされることになった。声を上げれば実現できると実感した」と話しました。

浅野氏は、「物価高はすぐ終わるとは思えないが県は4カ月の根拠を示さない。一方で新規県内事業参入の大企業に最大20億円の支援を予算計上した」と告発。参加者は「予算は医療現場や中小企業支援などに回すべきだ」と訴えました。

消費税減税、賃上げなど6項目を掲げたアンケートに、通行人の一人は「全項目実現してほしい。国会で議論するべきでしょ」と話しました。

「物価高で困っている。今後の教育費が不安」と飛び入りでマイクを握った女性もいました。

浅野氏は「もっと多くの声を聞き、建設的提案で政治を変えるために頑張る」と決意を述べました。

消費税減税 国会で議論を

「対話の区政」さらに
東京・杉並　区民有志が集会

東京都杉並区で岸本聡子区長がこの3年半で取り組んできた「区民との対話の区政」をさらに前に進めようと21日、区民が集会を開きました。主催は区民有志でつくる「区民まんなか杉並」。

メンバーの内田聖子さんが「この3年半で対話の区政が少しずつ前に進んできた。住民自治と民主主義を進化させ、区民が主体的に参画する区政を継続発展させたい。地域の課題を多くの人が議論して、納得できる解を見いだしていくことは、難しさもあるが、草の根からの自治に希望がある」とあいさつしました。

「対話の区政を前へ」と開かれた集会でトークする区民＝21日、東京都杉並区

岸本区長がビデオメッセージを寄せました。

各分野の区民がスピーチ。子どもの権利を守る活動に取り組んできた区民は「子どもの権利条例づくりで、行政が一方的に進めるのではなく、審議会での公募委員や、子どもから何十回もの意見聴取やワークショップを積み重ねたところに、区政の本気を感じた。児童館の廃止計画を『子どもの居場所は街の要』として見直し、7館を新設する方針に転換した」と語りました。

環境保護活動に関わる区民は「区のミーティングに参加して生ごみのたい肥化を提案したら、区が来年度から実証実験を行う方針を決めた。区民のアイデアを行政が受け止めて、行政に生かす仕組みをつくったのはすごい」と話しました。

参加者は地域ごとに分かれて、区政の課題を話し合いました。

日本共産党など超党派の区議が出席し、紹介されました。

迫る　茨城・城里町議選
「命と暮らし守る」原点に

ふじさく芙美子候補（73）＝現

茨城県城里町議選（定数12・2減）が3月3日に告示（8日投開票）されます。日本共産党は、ふじさく芙美子町議（73）＝現＝が4期目を目指します。

削減された定数12に対して現職10、元職1、新人6の17人が名乗りをあげ、女性は5人と、かつてない多数の大激戦の様相です。

ふじさく氏は、議会のたびに民報「新しろさと」で議会の様子を町民に報告。毎月、後援会ニュースを発行して対話を広げてきました。

ふじさく氏は、看護師として40年勤務し、「住民の命と暮らしを守ること」を原点に議員活動を進めてきました。この間▽防災無線戸別受信機の全戸設置▽後期高齢者の健診費用減額▽小中学校トイレに生理用品設置▽役場にお悔やみ窓口を設置－などを実現してきました。

引き続き▽町の健診拡充▽一人ひとりの人権が守られる町▽ジェンダー平等のまちづくり－など、公約実現へ、議席を守り抜くため連日、ビラ配布をし街頭から政策を訴えています。

3月3日告示
8日投票

中学給食は学校調理に
横浜市議会　白井氏求める

質問する白井氏＝20日、横浜市議会

横浜市議会第1回定例会で20日、日本共産党の白井正子市議が予算関連質疑に立ち、市民生活を支える予算の拡充、地域防災拠点の増設、中学校給食、建設労働者の賃金引き上げ、図書館協議会の設置について質問しました。

白井氏が、全面施行となった担い手3法の趣旨は、国基準の労務費が大工さんなどの労働者に行き渡ることであり、下請け構造のもとで働く建設労働者の賃金引き上げには労働者本人の賃金実態調査を経年で実施すべきだとして見解をただしたのに対し、市は「国の動向を注視」と答えるにとどまりました。白井氏は市の発注事業で事業者に労働者の賃金や労働条件の確保を義務付ける公契約条例の制定を求めました。

4月から始まる全員実施の中学校給食について、白井氏は市内に加え川崎、小田原、綾瀬、相模原の各市など遠方の給食工場からの配送では「安全で確実な提供に限界がある」と述べ、学校調理を軸にした検討を行うことを求めました。

山中竹春市長は「生徒の意見を大切にしながら、検証と改善を繰り返していく」と答えるにとどまりました。白井氏は第5期教育振興基本計画へのパブリックコメントに、中学校給食に対し300件以上の意見が寄せられ、ネガティブコメントが多いことは、デリバリー方式の限界が表れていると指摘しました。

くらしの情報

千葉

◇憲法改正問題に取り組む全国アクションプログラム憲法市民集会（千葉市）　28日（土）午後2時～4時半（1時半開場）、千葉県弁護士会館（千葉駅15分）。講演「防衛費の増大と平和福祉国家」山田博文群馬大学名誉教授。オンライン同時配信ありhttps://us06web.zoom.us/j/85767074563。主催＝千葉県弁護士会。問い合わせ＝同043（227）8431

◇「さばかん防災体験DAY」（船橋市）　3月1日（日）正午～午後4時、ふなばし三番瀬環境学習館（船橋駅から京成バス25分「船橋海浜公園」）。雨天・曇天は翌日に順延。波音に耳を傾け星空を楽しむ。中学生以下保護者同伴。参加費100円／人。要事前応募＝2月28日（土）午後4時締め切り。問い合わせ＝同館047（435）7711

◇天体観望会「星と潮騒の夕べ」（船橋市）　3月7日（土）午後7時～8時、ふなばし三番瀬環境学習館（船橋駅から京成バス25分「船橋海浜公園」）。雨天・曇天は翌日に順延。波音に耳を傾け星空を楽しむ。中学生以下保護者同伴。参加費100円／人。要事前応募＝2月28日（土）午後4時締め切り。問い合わせ＝同館047（435）7711

神奈川

◇横浜シネマリン上映予定（横浜市）　28日（土）～3月6日（金）、横浜シネマリン（関内駅北口徒歩5分、伊勢佐木長者町駅徒歩2分）。①「みんな、おしゃべり！」午前10時②「ラストムービーPART2」午後0時半③〝潜行一千里　ILHA FORMOSA〟公開記念空族特集上映〟28日（土）・1日（日）・4日（水）～6日（金）午後1時40分、2日（月）・3日（火）午後2時※日替わりで1日2～3プログラムを上映④〝北欧の至宝〟マッツ・ミケルセン生誕60周年祭〟午後6時半、2日（月）のみ午後8時20分※日替わりで1日2プログラムを上映⑤「女性の休日」2日（月）午後6時半※2日（月）のみ上映。料金＝一般1900円、シニア、大学・専門学校生1300円、高校生以下800円。問い合わせ＝045（341）3180

東京

◇第29回多摩平和まつり（多摩市）　3月1日（日）午後1時半～4時、関戸公民館8階ヴィータホール（京王線聖蹟桜ケ丘駅西口下車2分）。第1部＝寿大聡さん（舞台俳優・監督）講演「『対馬丸事件』からのバトンを引き継いで」。第2部＝高校生平和ゼミナール「若い世代からの平和の願い」。第3部＝ピースリーディング結、朗読劇「US星人がやってきた」。無料。先着250人。主催＝同実行委員会。問い合わせ＝090（2907）6510林さん

埼玉

◇2026年3・1学習会「川口・蕨のクルド人へのヘイトをどう考えるか」（さいたま市）　3月1日（日）午後2時、浦和コミュニティセンター第14集会室（JR浦和駅東口・パルコ10階）。講師＝伊須慎一郎弁護士（クルド人裁判弁護団）。資料代500円。主催＝日朝協会埼玉県連合会。問い合わせ＝080（3009）3878、bikke61eiki@yahoo.co.jp榮木さん

栃木

◇3・15弾圧で懲役6年－不屈の弁護士近内金光（こんない・かねみつ）の生涯から学ぶ墓参の集い（大田原市）　28日（土）午前11時、那須塩原駅改札口集合。墓参会・昼食のあとミニ講演。講師＝田中徹歩弁護士（とちぎ市民法律事務所）。主催＝治安維持法国賠同盟栃木県本部と南須原圭（遺族）。連絡先＝090（5802）6290小貫さん、070（6982）0540南須原さん

つり―だより

【千葉・いすみ、大原沖のフグ釣り】18日、晴れ、大潮。房総半島の太平洋側・いすみ市の大原漁港から午前5時半出船。航程30分でポイントに到着。水深11㍍。「根掛かりが多い」というのでカットウバリの下にオモリ25号を付ける下オモリ方式でやってみる。1投目で中ぐらいのアカメフグが上がった。船中でも釣れだし、これはどんどん釣れるのではと思ったが、そうはいかない。2尾目の大きなアカメフグが釣れたのは1時間後だった。まわりもあまり釣れていない。その後、ショウサイフグの釣り場に移動。そこで3尾追加した。釣果はアカメフグ2尾、ショウサイフグ3尾。久しぶりの釣行だったので、いい気分転換になった。（千葉・我進釣端）

〈投稿募集〉釣行の日時、場所、魚種、大きさ、仕掛け、エサ、交通の便、入漁料、渡船料など正確に記入し、氏名、住所、電話番号を明記。メールak-turi@jcp.or.jp
はがきは〒151－8675東京代々木郵便局私書箱62号　赤旗編集局つり欄係